

トンネル工で労務単価の割増を考慮する場合の端数処理等について

神奈川県県土整備局の積算システムでは、トンネル工の労務単価割増に対応するため、以下の D で始まる独自施工単価コードは、WB で始まる参照施工単価コードに、割増の補正係数を入力条件として追加して、この補正係数を労務単価にかけています。補正後の労務単価の端数処理は円止め（円未満切り捨て）としていますので、ご注意ください。

なお、これ以外の労務単価の端数処理の方法は、「積算参考資料（土木工事編）」（令和3年7月1日改訂版）第2章 工事費の積算 2-4 数値基準及び端数処理 （1）県工事設計積算システムを使用した積算の数値基準及び端数処理 3）労務単価の補正を参照してください。

編名	章名	独自施工単価コード	参照施工単価コード	施工単価名称	追加入力条件	補正後労務単価
道路	トンネル工	D450250	WB450250	仮設備保守（掘削作業～支保工作业）	普通作業員 補正係数(実数) 設備機械工 補正係数(実数) 電工 補正係数(実数)	円未満切り捨て
道路	トンネル工	D450252	WB450252	仮設備保守（掘削作業～支保工作业）	普通作業員 補正係数(実数) 設備機械工 補正係数(実数) 電工 補正係数(実数)	円未満切り捨て
道路	トンネル工	D450260	WB450260	空気圧縮機設備運転	特殊作業員 補正係数(実数)	円未満切り捨て
道路	トンネル工	D452010	WB452010	掘削等掘削吹付、ロックボルト、金網、鋼製支保	トンネル世話役 補正係数(実数) トンネル特殊工 補正係数(実数) トンネル作業員 補正係数(実数)	円未満切り捨て
道路	トンネル工	D452110 [*]	WB452110	掘削等掘削吹付、ロックボルト、金網、鋼製支保 （一括練混ぜ）	トンネル世話役 補正係数(実数) トンネル特殊工 補正係数(実数) トンネル作業員 補正係数(実数)	円未満切り捨て
道路	トンネル工	D452510	WB452510	掘削等掘削吹付、ロックボルト、金網、鋼製支保	トンネル世話役 補正係数(実数) トンネル特殊工 補正係数(実数) トンネル作業員 補正係数(実数)	円未満切り捨て

*）D452110 は、参照施工単価コードの入力条件である吹付プラント設備を、**一括練混ぜ**に固定しています。施工単価名称の（一括練混ぜ）は、内訳書、下位内訳書等には出力されません。

○トンネル世話役の計算例

労務単価：33,500円

トンネル世話役 補正係数(実数)：1.057

とすると、

補正後労務単価 = $33,500 \times 1.057 = 35,409.5 \Rightarrow 35,409$ 円（円未満切り捨て）

（単価、補正係数は架空のものです。）

注）週休2日補正有の場合は週休2日補正係数かけた段階で10円未満切り捨てした後、上表の追加入力条件の補正係数をかけて円未満切り捨てとなります。

前記計算例の場合、週休2日補正係数を1.05とすると、

補正後労務単価 = $33,500 \times 1.05 \times 1.057 = 37,174$ （10円未満切り捨て） $\times 1.057 = 37,174.69 \Rightarrow 37,174$ 円（円未満切り捨て）